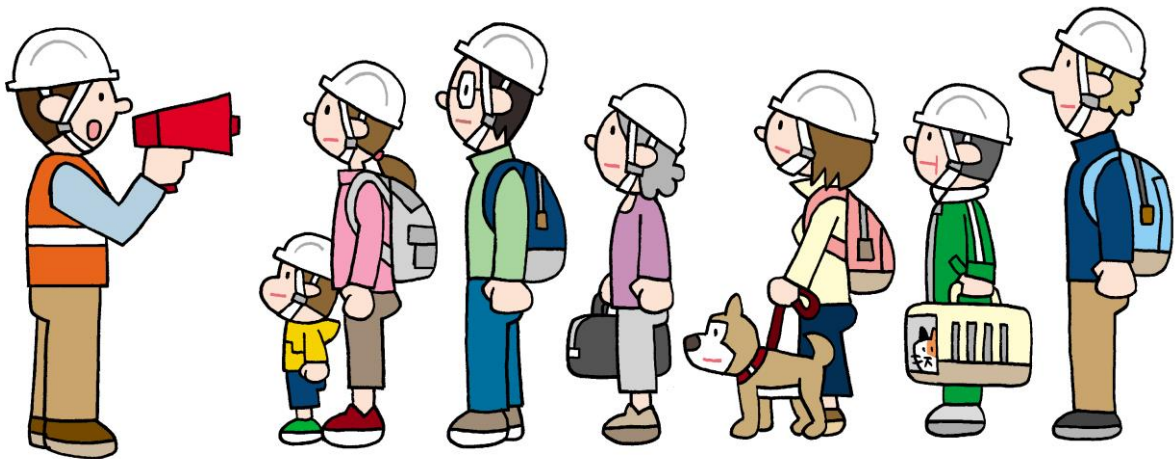


コミュニティ防災訓練

防災訓練メニュー

防災訓練は、災害時の迅速かつ適切な対応能力を高め、地域住民の安全確保の向上につながります。訓練メニューをいくつか組み合わせるなどして、訓練を実践してください。



訓練作成イメージ

1 参加規模と実施場所の決定

- 訓練実施日を決定する（3月中に防災危機管理課等へ連絡し決定）。
- 実施場所はどこですか（各コミュニティ内の小学校等の避難所が望ましい。訓練会場となる学校体育館等の使用については、コミュニティから各学校に連絡を）。
- 訓練時間はどの程度を予定していますか。
- コミュニティ内には何地区あり、何人が参加しますか。
- 地区ごとにグループを分けての訓練ですか、それとも、参加者全員が同一の訓練を行いますか。

2 訓練メニューから、実施したい訓練メニューを選択（3ページ以降にあり）

- A（共通訓練）各地域から避難所への避難訓練は必須
 - B（避難所運営訓練）とC（消火・救助・救護訓練）を組み合わせる訓練
 - 必要に応じてD（防災危機管理課、予防課、各種団体との調整が必要な訓練）を実施
 - E（八幡出張所市民体験コーナー）は、地区での訓練などで活用を
- ※訓練メニューは参考です。各コミュニティで実施したい訓練があれば、その訓練を実施していただいて構いません。

3 訓練概要書の作成（8ページに作成例あり）

- 実施する訓練メニューから、訓練概要書を作成します（様式は自由です）。
- 訓練概要書を作成したら、防災訓練実施日の遅くとも1か月前までには防災危機管理課等と打合せを行い、内容を決定します。
- 打合せの際に、訓練に必要となる提出書類（9ページ以降にあり）も併せて持参してください。
 - 1 防災行政無線を流す場合：防災行政無線（同報系）放送申請書
 - 2 備蓄食糧などを参加者に配布する場合：備蓄食糧払出し依頼書
 - 3 訓練当日以外で防災資機材を使用する場合：防災資機材借用申請書（当日使用分は不要）
 - 4 消防団の参加を依頼する場合：消防団派遣申請書
（1～3は防災危機管理課（Tel0562-36-2638）、4は庶務課（Tel0562-56-0416））
- 市・消防からのあいさつ、講評は原則行いませんが、参加ボランティア・職員の簡単な紹介をお願いします（参加者については、打合せでお伝えします）。



※訓練の相談、打合せ日程の調整は、防災危機管理課（0562-36-2638）又は予防課（0562-56-0147）までお願いします。

防災訓練の主なメニュー 一覧






番号	訓練項目名	目的	訓練概要	目安時間	場所・担当	状況	実施要件
A 共通訓練							
1	避難所への避難訓練	災害が起きた際に避難所へ、円滑に避難できるようにします。また、地域住民の安全確認も行います。	各地区で決められた公園などの集合場所から、避難経路を確かめながら、避難所へ集団で避難します。 訓練開始となる地震発生の際、訓練放送を、防災行政無線を使い流すことができます。	20分	防災危機管理課		津波災害警戒区域や、土砂災害警戒区域等がある地域では、その要件に合った避難行動を学びます。
B 避難所運営訓練							
1	総務班	避難所生活で必要となる班行動について学びます。	避難者の受付訓練を行います。	20分	防災危機管理課		避難所内(屋内)での実施
2	保健・衛生班	避難所生活で必要となる班行動について学びます。	避難所生活で重要なトイレの設営訓練を行います。	20分	防災危機管理課		避難所内(屋内)での実施
3	要配慮者支援班	避難所生活で必要となる班行動について学びます。	要配慮支援者のための、ダンボールベットや間仕切りテントの組み立て訓練を行います。	20分	防災危機管理課		避難所内(屋内)での実施
4	防災倉庫資機材展示取扱説明	防災倉庫に資機材としてどんなものが準備してあるかを知り、いざというときに使用できるようにします。	防災倉庫に収納してある資機材の展示をします。	自由見学	防災危機管理課		防災倉庫所在地近辺で訓練を行う場合に限り実施します。

C 消火・救助・救護訓練

1	震災対策用資機材 展示確認	震災対策用資機材としてどんなものがあるかを知り、いざというときに使用できるようにします。	自主防災会に配布してある震災対策用資機材の点検及び確認をします。	15分	予防課		
2	消火器訓練 (標的使用)	火災が起きたときに適切な対応が取れるようにします。	訓練用消火器を使用し、火点となる的を倒します。	15分	予防課		・5m×20m四方 (20㎡程度)のスペースが必要です。
3	水バケツ消火訓練	火災が起きたときに大勢の人で協力して、適切な対応が取れるようにします。	2列になり、1列は用水に溜めた水をバケツにくみ上げリレーし火点にかけ、もう1列は空のバケツを用水までリレーし戻します。	15分	予防課		・5m×20m四方 (100㎡程度)のスペースが必要です。 ・200リットル程度の水源が必要です。
4	濃煙訓練	火災が起きたときに火災の煙から適切に避難できるようにします。	煙を充満させたハウスを通り、火災による煙からの避難を疑似体験します。(煙は無害の訓練用のものを使います。)	15分	予防課		・10m×5m四方 (50㎡程度)のスペースが必要です。 ※コミュニティ単位のみ
5	救出救護訓練	身近にある防災資機材の使用方法を習得し、いざというときに救出及び救護をできるようにします。	倒壊建物の下敷きになった人を防災資機材を使って救出し、救護します。(マネキンを使用します)	30分	予防課		
6	心肺蘇生法	心臓が停止したときにAEDの取り扱いを含む心肺蘇生をできるようにします。	胸骨圧迫、人工呼吸の方法、AEDの使い方を学びます。(あっぱくん等を使います)	30分	消防署		
7	応急手当	三角巾を使ってケガの応急手当ができるようにします。	三角巾を使用し、新聞紙や座布団等を活用した骨折の手当の仕方や止血の方法及び包帯の基本的な巻き方を学びます。	30分	予防課		

8	応急担架、搬送法訓練	けが人を適切に運ぶことができますようにします。	けが人や要配慮者を一人で運ぶ方法や複数人で運ぶ方法、また家庭にある毛布を使って搬送する方法、簡易担架の作り方などを学びます。	20分	予防課		
9	ロープ結び訓練	荷物の上げ下ろしや、人を救出するとき、適切にロープが結べるようにします。	荷物の上げ下ろしや、人を救出するときの命綱など、ロープの結び方、使い方を学びます。	30分	予防課		
10	警戒警備	集団避難の際に地区内の警戒警備を行います。	一時避難所から小学校への避難状況を消防団がサポートします。	避難開始から完了まで	庶務課 (消防団)		
11	消火器訓練 (標的使用)	火災が起きたときに初期消火活動が行えるようにします。	訓練用消火器を使用し、火点となる的を倒します。	15分	庶務課 (消防団)		・5m×20m四方(20㎡程度)のスペースが必要です。 ※コミュニティ単位のみ
12	消防車の展示・説明	消防車を見学し、災害発生時の消防団の活動について知識を深めます。	消防団の所有する消防車について、展示、説明を行います。	10分	庶務課 (消防団)		
13	救助資機材の使用訓練	救助資機材の使用方法を学びます。	救助資機材の使用方法の実演、体験をします。	20分	庶務課 (消防団)		※コミュニティ単位のみ

D 防災危機管理課、予防課、各種団体との調整が必要な訓練

1	炊出し訓練	災害時に多くの人に食事を提供するための炊き出しの方法を学びます。	ハソリを用いた炊飯(直炊、ハイゼックス)、を実際に行うほか、ハソリを使わない炊飯方法等についての説明を受けます。	120分	知多市赤十字奉仕団		・訓練場所は水道の近くに限ります。
2	サバイバル炊飯	電気、ガスが使えないときに、身近のもので、コンロをつくることができますようにします。	空き缶でコンロをつくり、ご飯を炊く実演を行います。	120分	市内防災ボランティア団体		
3	防災講演	防災に関する知識を深めます。	防災に関わる様々な人の話を聞き、防災の知識を深めます。	応相談	市内防災ボランティア団体		
4	地震防災の講話	日頃からの地震への備えについての知識を深めます。	日頃からの地震に備えについて、説明をします。	応相談	防災危機管理課		
5	火災予防の講話	火災予防について学びます。	住宅防火について、説明をします。	応相談	予防課		

E 八幡出張所市民体験コーナー

1	八幡出張所 市民体験コーナー 地震訓練	地震の揺れを体験し、地震の恐ろしさを体感するとともに身を守る方法を学びます。	地震体験装置で、過去に起きた地震を体験します。	30分	消防署八幡出張所	
2	八幡出張所 市民体験コーナー 煙避難訓練	火災が起きたときに火災の煙から安全に避難できる方法を学びます。	濃煙室を使い、火災による煙からの避難を疑似体験します(煙は無害の訓練用のものを使います)。	30分	消防署八幡出張所	
3	八幡出張所 市民体験コーナー 応急手当訓練	急病人やケガ人に行う、様々な手当を学びます。	訓練用の人形を使い、胸骨圧迫や人工呼吸の方法、AEDの使い方を学びます。	30分	消防署八幡出張所	
4	八幡出張所 市民体験コーナー 防火防災クイズ(Q&A)	火災予防や防災のクイズにより、火災予防や防災の知識を習得します。	非常持ち出し品や備蓄品の展示、また防火防災クイズに答えて知識を習得します。	20分	消防署八幡出張所	
5	八幡出張所 市民体験コーナー DVD上映	火災予防や防災の映像を鑑賞し、火災予防や防災の知識を習得します。	火災予防や防災の映像を鑑賞し、火災予防や防災の知識を習得します。(36席あります)	30分	消防署八幡出張所	
6	八幡出張所 市民体験コーナー 屋外訓練(放水,走行)	放水体験や、消防車の試乗を行い、消防への理解を深めます。	消防車を使った放水体験や見学、はしご車の高所体験などをします。	30分	消防署八幡出張所	
7	親子で学ぶ 防災スクール	親子で防災に関することを分かりやすく学び、災害への関心、知識を深めます。	地震体験、はしご車の試乗体験、消火訓練等、様々な体験、訓練を行います。	120分	消防署八幡出張所	

〇〇コミュニティ防災訓練

1 日時、場所

〇月〇日（〇） 〇：〇〇 ～ 〇：〇〇
〇〇小学校

2 参加予定者

コミュニティ：コミュニティ会長、〇〇
地区住民 〇地区
合計 約〇人

3 訓練内容

- 〇：〇〇地震発生（防災行政無線によりコミュニティ内に訓練開始の放送）
- 〇：〇〇各地区で決められた集合場所（〇〇公園）に集合し、〇〇小学校へ避難開始
 - ・地区内の安否確認を行う
 - ・避難経路に危険箇所がないかを確認しながら、避難所へ向かう
（各地区の集合場所で地区防災資機材の確認、要配慮者の対応確認等）
- 〇：〇〇避難所へ到着
（区長から被害状況報告）
- 〇：〇〇開会式、訓練説明、会長あいさつ、参加機関紹介
- 〇：〇〇訓練開始（〇分×4グループ）
 - 訓練①：〇〇（△△地区）
 - 訓練②：〇〇（□□地区）
 - 訓練③：〇〇（〇〇地区）
 - 訓練④：〇〇（★★地区・☆☆地区）
- 〇：〇〇閉会式
備蓄食糧等の参加品を配布

4 その他

訓練レイアウト図・配置図
役割分担ごとのタイムスケジュールなど
（いずれもあれば添付してください）

防災行政無線（同報系）放送申請書

令和 年 月 日

知多市長 様

(申請者)

住 所

氏 名

連絡先

下記のとおり放送の申請をします。

記

地 区 名	コミュニティ
放送実施日時	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分
放送の目的 及び行事名	1 防災訓練 訓練名 () 2 運動会の変更・中止連絡 行事名 () 3 盆踊りの変更・中止連絡 行事名 ()
放送の内容	
責 任 者	
放送当日の 連絡担当者	TEL

※ 平常時の放送時間は、原則として午前8時から午後8時までです。

- ※ 申請書提出先
- 1 防災訓練（防災危機管理課）
 - 2 運動会の変更・中止連絡（生涯学習スポーツ課）
 - 3 盆踊りの変更・中止連絡（市民協働課）

防災行政無線（同報系）放送申請書

令和 年 月 日

知多市長 様

(申請者)

住 所

氏 名

連絡先

下記のとおり放送の申請をします。

記

地 区 名	コミュニティ
放送実施日時	令和 年 月 日 () 午前・午後 時 分
放送の目的 及び行事名	<p>1 防災訓練 訓練名 (○○コミュニティ防災訓練)</p> <p>2 運動会の変更・中止連絡 行事名 ()</p> <p>3 盆踊りの変更・中止連絡 行事名 ()</p>
放送の内容	<p>こちらは広報ちたです。○○コミュニティからお知らせします。 「訓練・訓練ただいま地震が発生しました。体を守る行動をとってください。 揺れがおさまりましたら、身の回りの安全を確認してください。この放送は訓練です。」</p> <p>「 」を2回繰り返し</p>
責 任 者	
放送当日の 連絡担当者	TEL

※ 平常時の放送時間は、原則として午前8時から午後8時までです。

- ※ 申請書提出先
- 1 防災訓練（防災危機管理課）
 - 2 運動会の変更・中止連絡（生涯学習スポーツ課）
 - 3 盆踊りの変更・中止連絡（市民協働課）

備蓄食糧払出し依頼書

令和 年 月 日

知多市長 様

申請者 住 所
氏 名
電話番号

このことについて、次のとおり払出しを受けたいのでよろしく申し上げます。

	番号	品 名	数 量
備蓄食糧名 (番号に○を付けてください。)	1	α米	食
	2	乾パン	食
	3	その他 ()	食
払出し希望日	令和 年 月 日 () 時 分		
利用目的			
使用対象・人数	人		
備 考			

※ 希望された場合も、在庫状況により希望に添えない場合があります。

※ 賞味期限切れ間近の備蓄食糧から払出しをするため、賞味期限内に試食することを配布するすべての人に周知徹底してください。

備蓄食糧払出し依頼書

令和 年 月 日

知多市長 様

申請者 住 所

氏 名

電話番号

このことについて、次のとおり払出しを受けたいのでよろしく申し上げます。

	番号	品 名	数 量
備蓄食糧名 <small>(番号に○を付けてください。)</small>	1	α米	○○食
	2	乾パン	○○食
	3	その他 (サバイバルパン)	○○食
払出し希望日	令和○年○月○日 (○) 午後○時○○分		
利用目的	○○コミュニティ防災訓練で、参加者の方に備蓄食糧を払い出すため。		
使用対象・人数	○○人		
備 考			

※ 希望された場合も、在庫状況により希望に添えない場合があります。

※ 賞味期限切れ間近の備蓄食糧から払出しをするため、賞味期限内に試食することを配布するすべての人に周知徹底してください。

防 災 資 機 材 借 用 申 請 書

令和 年 月 日

知多市長 様

申請者 住 所
氏 名
電話番号

このことについて、次のとおり借用したいのでよろしく申し上げます。

	番号	品 名	数 量
防災資機材名 (番号に○を付けてください。)	1	ハソリ	セット
	2	工具セット	セット
	3	その他 ()	セット
借 受 日	年 月 日 () 午前 午後 時		
返 却 日	年 月 日 () 午前 午後 時		
使 用 目 的			
使用対象・人数			
備 考			

防災資機材借用申請書

令和 年 月 日

知多市長 様

申請者 住 所

氏 名

電話番号

このことについて、次のとおり借用したいのでよろしく申し上げます。

	番号	品 名	数 量
防災資機材名 (番号に○を付けてください。)	1	ハソリ	セット
	2	工具セット	セット
	3	その他 (○○)	○ セット
借 受 日	令和 ○年○○月 ○日 (○) ^{午前} 午後○○時○○		
返 却 日	令和 ○年○○月 ○日 (○) ^{午前} 午後○○時○○		
使 用 目 的	○○コミュニティ防災訓練の実施前に、地区役員で使用方法を訓練するため。		
使用対象・人数	○○人		
備 考			

消防団協力申請書

令和 年 月 日

知多市消防団長 様

申請者 住 所
氏 名
役 職
電話番号

下記のとおり消防団の協力を申請します。

記

行 事	
日 時	令和 年 月 日 () ~ 月 日 () (午前・午後) 時 分 ~ (午前・午後) 時 分
予 備 日	月 日 () ~ 月 日 ()
内 容	
実施場所	
分 団	第 分団 希望人員 名

消防団協力承諾書

上記の内容につきまして消防団 (分団 名) の協力を承諾します。

知多市消防団長

中 根 義 浩

消防団協力申請書

令和〇〇年〇〇月〇〇日

知多市消防団長 様

申請者 住 所 知多市 〇〇
 氏 名 〇〇
 役 職 〇〇
 電話番号 〇〇

下記のとおり消防団の協力を申請します。

記

行 事	〇〇コミュニティ防災訓練
日 時	令和〇年〇月〇日 () ~ 〇月〇日 () (午前・午後) 〇〇時 〇分 ~ (午前・午後) 〇〇時 〇分
予 備 日	月 日 () ~ 月 日 ()
内 容	防災訓練補助
実施場所	〇〇小学校
分 団	第〇分団 希望人員 〇名

ここまで



ここまで



消防団協力承諾書

上記の内容につきまして消防団 (分団 名) の協力を承諾します。

知多市消防団長
 中 根 義 浩